

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
1	スーパー フロンティア	家庭	家庭基礎	全	必修	2

#### 講座のねらい

男女ともに家庭生活を営む担い手として、人生を見通し共に生きる、生活を営む、生活を創るということを学習します。そのためにも、生活のさまざまな場合で、男女が共同の責任をもって生活を営む意識を高め、独り立ちの準備として実習や体験を通して実践力を養います。  
また、多様な社会の変化に対応できる力を問い直し、一人ひとりが自らの価値観を見出し、生き方を探求し「生活をデザインする力」「人間力」を培うことを目指します。

#### 使用教材及び問題集

教科書：「家庭基礎」自立・共生・創造（東京書籍）

#### 授業の内容と進め方

教科書に従って授業を進めますが、それらを発展的に進めるうえでプリントを用います。また、新聞やニュースなどから家庭生活をめぐる多様な出来事を取り出し、家族や家庭生活の在り方について考えます。  
講義と実習を組み合わせを進めますが、講義はHR教室で、実習は家庭科室にて行います。

#### 講座の到達目標

- 1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得します。
- 2) 学習した知識や技術を活用し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成します。
- 3) 家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。

#### 評価の観点・テスト・課題など

評価は定期考査が中心となりますが、課題プリント提出で学習状況を確認します。  
また、出席状況・授業態度、調理実習への取り組み方を平常点とします。

#### 備考

- 用具の準備  
調理実習・・・エプロン、三角巾、マスク  
裁縫セット

## 授業の計画

<p>1 学期 学習計画および学習内容</p> <p>1 章 自分らしい人生をつくる</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 生涯発達の視点</li><li>2. 青年期の課題</li><li>3. 目標を持って生きる</li><li>4. 人生をつくる</li><li>5. 家族・家庭をみつめる</li><li>6. これからの家庭生活と社会</li></ol> <p>5 章 食生活をつくる</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 食生活について考える</li><li>2. 食事と栄養・食品</li></ol> <p>[調理実習]</p> <p>[作品製作]</p>
<p>2 学期 学習計画および学習内容</p> <ol style="list-style-type: none"><li>3. 食生活の安全と衛生</li><li>4. 生涯の健康を見通した食事計画</li><li>5. 調理の基礎</li><li>6. これからの食生活</li></ol> <p>2 章 子どもと共に育つ</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 子どもの育つ力を知る</li><li>2. 親として共に育つ</li><li>3. 子どもの権利と福祉</li></ol> <p>[調理実習]</p> <p>[作品製作]</p>
<p>3 学期 学習計画および学習内容</p> <p>3 章 高齢社会を生きる</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 高齢期を理解する</li><li>2. 高齢期の心身の特徴</li><li>3. これからの高齢社会</li></ol> <p>8 章 経済生活を営む</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 職業生活を設計する</li><li>2. 計画的に使う</li><li>3. 国民経済・国際経済と家庭の経済生活</li><li>4. 消費行動と意思決定</li><li>5. 現代の消費社会</li><li>6. これからの消費生活と環境</li></ol> <p>[調理実習]</p> <p>[作品製作]</p>